

## 貿易港を支えるターミナル

北米東海岸で最大級規模のニューヨーク／ニュージャージー港は、その名の通りニューヨーク州とニュージャージー州にまたがる広範な港である。2003年度のコンテナ貨物取扱量は約406万7800TEUで、カリフォルニア州のロングビーチ港、ロサンゼルス港に次いで国内第3位。年間寄港船舶数は延べ5000隻を超える。

その膨大な量の貨物物流を担っているのが、各地区のコンテナターミナルだ。同港全体では70のバース、50基のコンテナクレーンを保有する。二つの



港湾全体で70のバース、超パナマックス船にも対応できる最新大型クレーンを含む50基のコンテナクレーンを保有し、日々大量のコンテナ貨物を動かしている。

# PORTS & HARBOURS IN THE WORLD

## ニューヨーク／ニュージャージー港 (アメリカ)



複数のコンテナターミナルを有するニューヨーク／ニュージャージー港は、コンテナ貨物取扱量ではアメリカ国内第3位の港だ。年々増加する貨物輸送のニーズに対応するため、主要ターミナルでは鉄道輸送網の拡張・整備が進められている。



ターミナル全体では、年間400万TEUを超えるコンテナ貨物を取り扱う。国際貨物では中国を主とする東アジアからの輸入貨物の伸びが顕著だ。

ターミナルと自動車輸出入専用施設がある「ポートニューアーク／エリザベス・ポートオーソリティー・マリナーターミナル」がその中でも最大だ。特にマターミナルは設備の充実度が高く、取扱量でもトップ。水深14～15メートルのバース8つ、コンテナクレーン13基などを有し、北米最大の自動コンテナ運送機材数を誇っている。

また同ターミナル内にあるAPMターミナルは、2004年10月に第1期拡張

工事を終えたエクスプレスレイルの鉄道施設に直結。2006年完成を目指した再開発事業が進行中で、水深15メートルとなるほか、超パナマックス級のクレーン6基が新設される予定である。

一方、「ポートニューアーク・コンテナターミナル」は、貨物センターとしての役割を果たすべく、冷却貯蔵、食用油脂や濃縮オレンジの貯蔵、石膏、スクラップ、セメント、塩などバラ積み貨物の取り扱いなどに利用できる特

殊な施設を備えている。

ニュージャージー州ジャージーシティとベイヨン両市の境に位置する「オートマリナーターミナル」は自動車専用。CSX鉄道およびノーフォークサザン鉄道に直結しているため、内陸の市場や生産地との間で効率的な鉄道輸送ができる。このターミナルに隣接するのが「グローバル・ターミナル」。同港で唯一民間が所有・運営する施設で、超パナマックス級クレーン4基を含む6基のコンテナクレーンを有する。

コンテナ貨物と混載貨物を扱う「ホーランドフック・マリナーターミナル」があるスタテン島は、ニュージャージー州との間をゴースルズ橋とで結ばれている。周辺の主要なトラック輸送道路とつながる陸路の拠点だ。コンテナ貨物は年間42万5000TEUの取り扱いが可能。現在はCSX鉄道とノーフォーク



ニューヨーク／ニュージャージー港はアメリカ第3位の取扱量を誇り、年間寄港船舶数は延べ5000隻を超える。その膨大な量の貨物物流を担うために複数のコンテナターミナルを保有している。

クサザン鉄道に直結させる鉄道輸送の整備が進められている。

ニューヨーク州側にある「ブルックリン・ポートオーソリター・マリナーターミナル」は、マンハッタンやハドソン川東部へのアクセスに優れている。主に混載貨物の積み降ろしと保管に使われるブルックリン埠頭、コンテナ貨物と在来貨物を扱うレッドフック・コンテナターミナルからなる。後者は燻蒸施設を備えているため、特殊な一次製品の取り扱いも可能だ。

### 内陸輸送網の向上を目指す

2003年度のニューヨーク／ニュージャージー港の最大貿易相手国は全体の2割近くを占める中国で、次いでイタリア、ドイツの順、日本は8位である。コンテナ貨物は、主要輸出品では紙・板類、一般貨物、混合スクラップ、主要輸入品では家具、一般貨物、女性・子供用衣料品がトップ3といった内訳

だ。輸出で伸びが目立ったものは自動車、合成樹脂・プラスチック、木材・パルプ、家庭用品、輸入では衣料品のほか敷布・毛布、カカオ豆、ココア製品など。2004年9月末までのコンテナ貨物取扱量は、輸出入合わせて前年同期比11.0%増となっている。在来貨物（一般貨物とバラ積み貨物）も輸出入全体で前年同期比1.8%増と、いずれも増加傾向にある。

日々取り扱う多様な貨物を効率よく捌くためには、輸送手段の整備が欠かせない。同港は内陸ハイウェイ網とのアクセスに優れており、毎日数千台のトラックが近郊や遠隔地に向けて貨物を運搬している。

鉄道輸送を支えているのは港内にある10以上の貨物鉄道ターミナルだ。代表的なものがターミナルに直結するエクスプレスレイルで、「ポートニューアーク／エリザベス」ターミナルからは、中西部やニューイングランド、



鉄道輸送も充実。港内にある10以上の貨物ターミナルから、中西部やニューイングランド、カナダ東部へ貨物列車が直行している。



アメリカ国内でも有数の自動車輸出入港であり、「ポートニューアーク／エリザベス」と「オートマリナーターミナル」には自動車専用施設が整備されている。

カナダ東部へ貨物列車が直行している。カナディアン・パシフィック鉄道、CSX鉄道、ノーフォークサザン鉄道を通じてアメリカ東部やカナダの市場にも運ばれている。さらに鉄道輸送能力を高めるため、現在はエクスプレスレイルスタテン島の整備など拡張工事が進行中だ。

内陸物流の効率化を図るため、同港から<sup>はしけ</sup>船と鉄道を利用したコンテナ輸送を行う計画も浮上している。船でニューヨーク州の州都オルバニー、ニュージャージー州南部、コネチカット州ブリッジポート、ロードアイランド州プロビデンスなど東海岸地域にコンテナを輸送し、ニューヨーク州およびペンシルバニア州の内陸部へは鉄道で輸送するというものだ。

このネットワーク構築が実現すれば、内陸部を目的地とするトラック輸送の削減ができ物流コストが下がるだけでなく、空気汚染の緩和や省エネ対策にもつながる。国際貿易の拡大で今後もコンテナ輸送の増加が予想される中、持続可能な輸送方法となることが期待されている。

(写真・資料提供／ニューヨーク・ニュージャージー・ポート・オーソリター 文／小野寺明子)



世界貿易センター跡地にあるPATH鉄道臨時駅。後方は再建中の世界貿易センター7番ビル（左）ニューヨーク／ニュージャージー港のリバティー島にある自由の女神。（右）